

【観光・文化分野】 ~관광·문화분야~

# 韓国朝鮮語CoToはじめ

~KOREAN for K-POP TRAVELERS~

本コースは、文字(ハングル)の読み書きができればどなたでも受講できます。

日時: 12月18日、21日、22日、23日、24日

5限 (16:10~17:40)

担当: 姜 信和先生

この講座では、韓国朝鮮語の実践的な会話練習を行います。新型コロナウイルス感染拡大により未だ不安定な状況が続いています。しかし、コロナ禍のこのような時世だからこそ、軽やかに心ばかりは飛翔させたいものです。互いに国境を跨越す往来再開に向けて、今のうちに旅先でも役立つフレーズを蓄えていきましょう。本講座では、待ちに待ったK-POPコンサートに行く旅行を想定して、買い物や注文、アポイントをとる際に必須の数字の運用など、すぐに使える表現を学習します。伝統文化に触れられる名所をまわった前期に引き続き、後期は現代的な韓国の街並みを訪ねてみましょう。

申し込み方法: **件名を「韓国朝鮮語講座申込」とし**、[icotoba@for.aichi-pu.ac.jp](mailto:icotoba@for.aichi-pu.ac.jp)へメールで申し込んでください。※申込期限: 12月14日(月曜日) 17:00

## [各回のテーマ]

第1回(12月18日)Nソウルタワーからの夜景

第2回(12月21日)シティーツアー開始

イテウォン

第3回(12月22日)世界の縮図、梨泰院

ホンデ

第4回(12月23日)流行の発信地、弘大

第5回(12月24日)ソウルでの最終日



## 姜 信和先生からのメッセージ

みなさん、まず日本を中心に据えた、見慣れた東アジア地域の地図を思い浮かべてみてください。それを180度くると廻してみると、朝鮮半島から見て海の向こうに長く大きく横たわる、また別の日本列島の姿が見えてくるはずです。そう、私たちは対岸に位置する、たいへん隣接(neighbouring)している同じ地域の住人なのです。複数の大国の狭間にある半島は、歴史的に難しい状況に置かれがちでした。しかし、例えば海を挟んだロンドンとパリの若者たち、週末には互いに往来し、違う言語と文化を自然体で楽しんでいる彼らの姿は、日韓の私たちに多くの示唆を与えてくれます。百聞は一見にしかず、少し話せるようになって、実際に韓国へ、見聞の旅に出かけましょう!